

土肥高通信

令和5年度 静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校 学校だより第9号
令和6年1月23日発行 TEL.0558-98-0211

3学期のはじまり

新年あけましておめでとうございます。元日には、歴史的規模の能登半島地震があり、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。この土肥分校で、昨年と変わらない学校生活を送れることのありがたみを感じながら、日々の活動に励んでまいります。

始業式に校長先生のお話にあった、『一(1)歩踏み(2,3)出せ!土肥分校生』を3学期の目標とし、失敗を恐れず何事にもトライしていきましょう。本年もこれまでと変わらない御理解、御協力をお願いいたします。



○百人一首大会

年始の恒例行事となった土肥小・中一貫校との合同百人一首大会。今年は土肥分校の3学年合同チームが優勝を勝ち取りました。中学生チームも大健闘し、3位入賞!あまりの白熱ぶりに、ブレザーを脱ぐ生徒が印象的でした。



2月の予定

2月1日 (木) 学年末テスト (3年)
2月2日 (金) //
進路研修 (1、2年)
2月6日 (火) 本分合同学習発表
2月7日 (水) 進路講座
2月8日 (木) 3年家庭学習日 (~2/27)

2月13日(火) 第2回PTA総会
2月20日(火) TOIゼミ発表会
2月26日(月) 学年末テスト (1、2年)
~28日(水) //
2月29日(木) 卒業式予行
同窓会入会式

○下宿先インタビュー

今年度から土肥分校の下宿先としてお世話になっている、小土肥にある「西乃家」の女将さんにインタビューをしました。地域の方の手厚いバックアップのもと、学校生活が送れていることを実感できました。楽しいお話をありがとうございました。

夕食時の団らんが、毎日のやりがい

—下宿受け入れの経緯を教えてください。

私たちに何かサポートできることがあればと思い、やることにしました。

また、コロナ禍の情勢や、自分が学生時代に下宿を経験していたことも大きいかも知れません。

—生徒の下宿での様子はどうですか？

エネルギーが溢れていますね（笑）。

生活をサポートする上で、大変だと思う時もありますが、やっぱり苦勞する分、可愛いですよ。食事の時間に、その日学校であったことをお話したりもして、一緒に生活していると、本当の孫のように思えてきます。

—やりがいはどんなところにありますか？

やりがいとは違うかもしれませんが、子どもたちと関わりを持ったことで、マラソン大会や文化祭での活躍が楽しみになりました。

「料理が美味しい！」の一言や、「いつもお世話になっているから。」と、洗い物を手伝ってくれた時は嬉しかったですね。

あとは、やっぱり夕食の時の団らんでしょうか。少し口うるさく言うってしまう時も、たまにありますけど…。



—地域の代表として、土肥分校に期待することはありますか？

そうですね…。子どもたちが防災訓練に参加してくれた時は、地域の人も嬉しそうに話していましたし、何より活気づきますよね。

あとは個人的な思いになってしまうんですけど、学校に行きづらくなった中学生たちが社会に出ていくための手助けというか、社会との繋がりを断たない役割に、引き続き期待したいです。西乃家としても、そういった子どもたちに「土肥分校に入学して、卒業してほしい」という思いがありますし、そのためにフォローしてあげたいと考えています。

—最後にひとことお願いいたします。

この春、後輩の面倒をよく見てくれた先輩が卒業します。これから新しい1年生が入ってきたら、残った彼らが先輩として引っ張ってくれるのかな、と心配な反面、楽しみでもあります。

—ありがとうございました。



↑今回インタビューに協力していただいた女将の西堀さん（写真左）と生徒たち



土肥分校HP